

韓半島産蟻類目録^{*}

寺山 守¹⁾・崔 炳 文²⁾・金 昌 洵³⁾

A Check List of Ants from Korea, with Taxonomic Notes

Mamoru Terayama, Byeong-Moon Choi and Chang-Hyo Kim

Abstract.

The present status of the classification of Korean ants is briefly reviewed. One hundred eleven species of forty-one genera in five subfamilies are recognized. Twenty-one forms are provisionally excluded from the Korean fauna until a reliable record may be published. A check list, historical review, and bibliography of ants of Korea are also provided.

緒 言

韓半島におけるアリ類の研究は、20世紀初頭から始まるが、それ以降比較的近年まで断片的な記録が少しずつ蓄積されていく状態が続いて来た。1980年代に入ると、韓半島各地域を対象に精度の高い分布調査が始められ、また分類、生態に関する研究も行われだし、急速に知見が増加しつつ今日に至っている。

アリは非常に高い現存量を示し食性の範囲が広いことから、広範に生態系の食物網に関与しており、かつ生態系の中で重要な役割を持つ。一方、農林業害虫や天敵として農林業と密接な関わりを持つ種も多い。さらには身近な存在であり飼育や観察といった生物教材としての利用

*) South Korea と North Korea の両地域を表現する場合、日本では韓半島あるいは朝鮮半島等と言った呼称があるが、本報で用いた韓半島の名称はあくまで地理的な立場での表現であって、政治的意図のない事を予め申し添えておく。

- 1) 桐朋学園生物研究室 東京都調布市若葉町 1-41-1 (日本国)
- 2) 清州教育大学科学教育科 清州市秀谷洞 135 (大韓民国)
- 3) 慶尚大学校農科大学農生物学科 晋州市加佐洞 900 (大韓民国)

価値も高い。しかしながら韓半島におけるアリ類の分類は依然として混乱した状態にあり、多くの問題を抱えている。例えば、これまでの分布記録に対して分類学的な再検討が加えられず、それ故当時の学名がそのまま引き継がれている、誤同定や不適切な学名が使われている、1つの種に対して複数の学名が与えられ、それが混在している等の問題を解決していく必要がある。特に東アジア、東南アジア地域のアリの分類が、未だに未整理のまま残されているグループが圧倒的に多い現状の中で、韓半島においても国内の標本収集は不十分であるのみならず、比較に必要な近隣諸地域の標本も不完全であることから分類研究は困難を伴っている。しかし、今後ともアリの研究、調査がさらに進展して行き、社会的、教育的にも知識が普及していくことを勘案すると、韓半島産のアリ類の分類を早急にかつ総合的に再検討する必要性に迫られていると言える。

本稿は韓半島におけるアリ類の総合的な分類学的検討の第一段階として、今日までに記録されたアリの学名の整理を行い、これまでに収集された各地の標本を参照することによって、韓半島に生息する種の概要を提示することを目的とする。さらに分類学的に今後とも解決すべき問題点も指摘しておきたい。

研究史

韓半島からのアリの最初の記録は Wheeler (1906) による *Camponotus herculeanus japonicus* (= *Camponotus japonicus*) および市川 (1906) による *Camponotus herculeanus* (おそらく *C. japonicus* か *C. atrox*) であろう。1912年に Matsumura は韓半島産として *Formica rufa* (= *F. yessensis*?) を、1912年には Karawajew が1新種2変種を含む9種を報告した。寺西 (1916) は京城 (ソウル) からエゾアカヤマアリを報告し、松村 (1917) は *Camponotus ligniperdus* を、Okamoto (1924) は *Camponotus obscuripes* を報告した。ただし後2種はどちらも *Camponotus atrox* の誤同定であると思われる。1925年には寺西の *Messor aciculatus* 及び内田の *Polyrhachis lamellidens*, *Camponotus obscuripes* (= *C. atrox*), *Lasius fuliginosus* 3種の記録が、1927年には寺西 (1927a, b) による *Polyergus samurai*, *Brachyponychinensis*, *Solenopsis fugax* (= *S. japonica*) の記録が見られる。1928年に Wheeler は1種を含む10種を報告した。また、寺西 (1929a, b) に19種が、Kuznetsov-Ugamskij (1929) は *Camponotus japonicus* の記録が、Karawajew (1929) には3種が、太田 (1935, 1936) には4種が、土居 (1938) には1種が見られる。

1940年代に入ると先ず Yasumatsu (1940) による *Formica truncorum* var. *yessensis* *Camponotus japonicus* の2種の報告が見られ、さらに寺西 (1940a, b, c, d) はこれまでと自分の標本を整理し、韓半島産として4亜科47種を報告した。さらに、安松 (1941) 産カタアリ属の検討や Yasumatsu & Brown (1951, 1957) の東アジア産の *Camponotus*

価値も高い。しかしながら韓半島におけるアリ類の分類は依然として混乱した状態にあり、多くの問題を抱えている。例えば、これまでの分布記録に対して分類学的な再検討が加えられず、それ故当時の学名がそのまま引き継がれている、誤同定や不適切な学名が使われている、1つの種に対して複数の学名が与えられ、それが混在している等の問題を解決していく必要がある。特に東アジア、東南アジア地域のアリの分類が、未だに未整理のまま残されているグループが圧倒的に多い現状の中で、韓半島においても国内の標本収集は不十分であるのみならず、比較に必要な近隣諸地域の標本も不完全であることから分類研究は困難を伴っている。しかし、今後ともアリの研究、調査がさらに進展して行き、社会的、教育的にも知識が普及していくことを勘案すると、韓半島産のアリ類の分類を早急にかつ総合的に再検討する必要に迫られていると言える。

本稿は韓半島におけるアリ類の総合的な分類学的検討の第一段階として、今日までに記録されたアリの学名の整理を行い、これまでに収集された各地の標本を参照することによって、韓半島に生息する種の概要を提示することを目的とする。さらに分類学的に今後とも解決すべき問題点も指摘しておきたい。

研究史

韓半島からのアリの最初の記録は Wheeler (1906) による *Camponotus herculeannus japonicus* (= *Camponotus japonicus*) および市川 (1906) による *Camponotus herculeanus* (おそらく *C. japonicus* か *C. atrox*) であろう。1912年に Matsumura は韓半島産として *Formica rufa* (= *F. yessensis*?) を、1912年には Karawajew が1新種2変種を含む9種を報告した。寺西 (1916) は京城(ソウル)からエゾアカヤマアリを報告し、松村 (1917) は *Camponotus ligniperdus* を、Okamoto (1924) は *Camponotus obscuripes* を報告した。ただし後2種はいずれも *Camponotus atrox* の誤同定であると思われる。1925年には寺西の *Messor aciculatus*、及び内田の *Polyrhachis lamellidens*, *Camponotus obscuripes* (= *C. atrox*), *Lasius fuliginosus* 3種の記録が、1927年には寺西 (1927a, b) による *Polyergus samurai*, *Brachyponera chinensis*, *Solenopsis fugax* (= *S. japonica*) の記録が見られる。1928年に Wheeler は1新種を含む10種を報告した。また、寺西 (1929a, b) に19種が、Kuznetzov-Ugamskij (1929) には *Camponotus japonicus* の記録が、Karawajew (1929) には3種が、太田 (1935, 1936) には4種が、土居 (1938) には1種が見られる。

1940年代に入ると先ず Yasumatsu (1940) による *Formica truncorum* var. *yessensis* 及び *Camponotus japonicus* の2種の報告が見られ、さらに寺西 (1940a, b, c, d) はこれまでの記録と自分の標本を整理し、韓半島産として4亜科47種を報告した。さらに、安松 (1941) の極東産カタアリ属の検討や Yasumatsu & Brown (1951, 1957) の東アジア産の *Camponotus* 属

の herculeanus グループの検討があり, Wilson (1955) の *Lasius* 属の総説にも韓半島産のものが取り扱われている。目録としては金 (1963) の文献目録およびアリ52種・亜種の目録, 韓国動物学会 (1968) の53種・亜種の目録があり, 金 (1970) は48種・亜種を図鑑に掲げた。また Pisarski (1966) は *Strongylognathus koreanus* を記載し, Hung (1970) は *Polyrhachis lamellidens* を報告した。さらに Collingwood (1976, 1981) は北韓 (韓半島中部以北) 産のアリを検し2新種を含む94種を報告した。Yamauchi (1979) の日本産 *Lasius* の総説のなかにも韓半島産の記録が見られる。

1980年代に入ると南韓 (韓半島中部以南) でのアリ相の解明が著しく進展した。地域のアリ相を扱ったものとして, 俗離山 (崔, 1985), 漢拏山 (崔他, 1985), 濟州島, 突山島, 梧桐島, 俗離山, 清州, 月岳山, 小白山, 雪岳山 (崔, 1986a,b), 紅島, 大黒山島 (Choi & Kim, 1987), 智異山 (金・崔, 1987), 江華島 (崔, 1988), 慶尚南道 (金他, 1989), 濟州島, 突山島, 梧桐島, 俗離山, 清州, 月岳山, 小白山, 雪岳山 (崔, 1986a,b) が見られる。さらに韓国昆虫分布図鑑 (1980) には8種のアリの韓半島での分布図が示されている。分類に関するものとしては, フタフシアリ亜科 (金・金, 1982; 金・金, 1983), *Formica* 属 (Kim & Kim, 1983), *Monomorium* 属 (崔, 1987) がある。さらに Kim & Kim (1986) は新種として *Camponotus jejuensis* を記載した。エゾアカヤマアリを用いた生物防除に関する一連の研究として金・金 (1973), 金・崔 (1976), Kim & Murakami (1980a,b,1981a,b,) があげられる。目録では白 (1984) の94種・亜種・変種, 崔 (1986a,b) の104種・亜種・変種がある。その他, 白 (1983) の検索表, Kim (1986a), Kim (1986b,1988), Kim & Kim (1984), Ogata et al. (1985), 園部 (1980, 1984) 等の報文が見られる。

1990年の段階で韓半島から記録されたアリは119種・亜種・変種に達しているが (Terayama & Choi, 1991), この数字も, 今までに発表された他の目録と同様に, 文献上に表れたものを累積させたにすぎず, 韓半島に実存するアリの種数とは異なるものである。また, 1991年には崔・朴 (1991a,b) によってソウル南山および忠南鷄龍山のアリ相が発表された。

目 録

現在までに記録された, あるいは著者等によって確認されたアリの検討, 整理を試みたところ, 5亜科41属111種にまとめられた。

本目録は次の要領で記載した。

- 1) 学名のシノニムリストは韓半島産の種に関連のあるものに限定した。
- 2) 学名の適用は「国際動物命名規約 (3版), 1985」に従った。
- 3) 過去に韓半島からの報告が見られるが, 正体が不明かあるいは韓半島での分布が疑問視

されている種は「分布疑問種および正体不明種」として別のリストに一括して掲げ、本目録から除外した。

- 4) それぞれの種について学名、学名のシノニムリスト、文献による産地の順に記述した。
- 5) これまでに報告された産地とその文献名を文献番号により示した。産地は韓半島中部以北と以南とに大別し、それぞれを〔北韓〕, 〔南韓〕と表記した。また産地名は行政区画による統一的な表示では行っていない。
- 6) 明らかに誤同定のものや同定に疑問が持たれる記録は、文献による産地の欄から除外した。**)
- 7) 説明が必要な種には、その種名の右肩に*1)~*45)の番号をつけ、番号に対応した説明を分類学的ノートに掲げた。

Subfamily PONERINAE

Tribe Amblyoponini

1) *Amblyopone silvestrii* (Wheeler)

Stigmatomma silvestrii Wheeler, 1928

Amblyopone silvestrii; Brown, 1960

〔南韓〕 済州島, 3,4; 梧桐島, 3,4; 俗離山, 3,4; 南海島, 32; 閑山島, 32.

Tribe Proceratiini

2) *Proceratium itoi* (Forel)

Sysphincta itoi Forel, 1917

Proceratium itoi; Brown, 1958

〔南韓〕 済州島, 3,4; 梧桐島, 3,4; 釜山, 32; 南山, 74; 鷄龍山, 75.

3) *Proceratium watasei* (Wheeler)

Sysphincta watasei Wheeler, 1906

Proceratium watasei; Brown, 1958

〔北韓〕 Kaesong, 9.

**) 例えば韓国昆虫分布図鑑 (1980) の分布記録は同定の信頼性に疑問があることから採用しなかった。(標本写真から *Formica fusca japonica* としているものは明らかに *Lasius* 属の女王, *Pheidole ferrida* [!] は *Pheidole* とは別属のもの, *Pristomyrmex pungens* も本属とは別属のものである。)

Tribe Ponerini

4) *Ectomomyrmex javanus* Mayr *1)

Ectomomyrmex javanus Mayr, 1867

Pachycondyla (*Ectomomyrmex*) *japonica* Emery, 1902 [Syn. by Yasumatsu, 1962]

Ectomomyrmex japonicus; Wheeler, 1928

Pachycondyla astuta; Collingwood, 1976

[南韓] 南海島,32; 巨濟島,32; 閑山島,32; 每勿島,32; 釜山,32; 鎮海,32; 忠武,32; 清州,3,4; 月岳山,3,4; 小白山,3,4; 雪岳山,3,4; 水原,50,52,54,56; 釋王寺,50,54; 俗離山,2,3,4; 智異山,24; 漢拏山,8; 洪川,36; 青陽郡,36; 紅島,7; 大黑山島,7; 江華島,6; 濟州島,3,4; 突山島,3,4; 梧桐島,3,4; 京城,59; 南山,74; 鷄龍山,75. [北韓] 金剛山,10,50,54; Kaesong,9.

5) *Brachyponera chinensis* (Emery)

Ponera solitaria Fr. Smith, 1874 [Nec *solitaria* Fr. Smith, 1860]

Euponera (*Brachyponera*) *nigrita chinensis* Emery, 1894

Brachyponera chinensis; Brown, 1958

[南韓] 京城,52; 俗離山,2,3,4; 智異山,24; 漢拏山,8; 紅島,19; 大黑山島,7; 江華島,6; 濟州島,3,4; 突山島,3,4; 梧桐島,3,4; 清州,3,4; 小白山,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 蛇梁島,32; 欲知島,32; 閑山島,32; 每勿島,32; 釜山,32; 鎮海,32; 忠武,32; 水原,48; 南山,74; 鷄龍山,75.

6) *Trachymesopus pilosior* (Wheeler)

Euponera (*Trachymesopus*) *sharpi pilosior* Wheeler, 1928

Euponera (*Trachymesopus*) *chosonensis* Teranishi, 1940 [Syn. by Brown, 1963]

Trachymesopus pilosior; Brown, 1963

[南韓] Osaka,52. [北韓] 平壤,9; Kangwon,9.

7) *Cryptopone sauteri* (Wheeler)

Pachycondyla (*Trachymesopus*) *sauteri* Wheeler, 1906

Euponera (*Pseudoponera*) *sauteri*; Emery, 1909

Euponera (*Trachymesopus*) *sauteri*; Emery, 1911

Cryptopone sauteri; Brown, 1963

[南韓] 水原,50; 華山,50; 釋王寺,50; 俗離山,2,3,4; 江華島,6; 濟州島,3,4; 月岳山,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 南山,74; 鷄龍山,75.

8) *Ponera japonica* Wheeler

Ponera japonica Wheeler, 1906

[南韓] 釋王寺, 52; 俗離山, 2, 3, 4; 紅島, 7; 大黒山島, 7; 江華島, 6; 濟州島, 3, 4; 南山, 74; 鷄龍山, 75; 南海島, 32; 閑山島, 32; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4. [北韓] 平壤, 9; Kangwon, 9.

9) *Ponera scabra* Wheeler

Ponera scabra Wheeler, 1928

[南韓] 俗離山, 2, 3, 4; 江華島, 6; 濟州島, 3, 4; 南海島, 32; 巨濟島, 32; 閑山島, 32; 南山, 74; 鷄龍山, 75; 釜山, 32. [北韓] 平壤, 9; Kangwon, 9.

10) *Hypoponera gleadowi* (Forel)

Ponera gleadowi Forel, 1895

Hypoponera gleadowi; Onoyama, 1989

[南韓] 水原, 50; 釋王寺, 50.

11) *Hypoponera sauteri* (Forel) **)

Ponera gleadowi var. *sauteri* Forel, 1912

Hypoponera sauteri; Onoyama, 1989

[南韓] 大黒山島, 7; 江華島, 6; 濟州島, 3, 4; 俗離山, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 南海島, 32; 巨濟島, 32; 閑山島, 32; 釜山, 32; 鷄龍山, 75; 德積島, 56; 南山, 74.

12) *Hypoponera nippona* (Santschi)

Ponera nippona Santschi, 1937

Hypoponera nippona; Ogata, 1987

[南韓] 德積島, 56.

Subfamily CERAPACHYINAE

Tribe Cerapachyini

1) *Cerapachys humicola* Ogata **)

Cerapachys humicola Ogata, 1983

[南韓] 南山, 74.

Subfamily MYRMICINAE

Tribe Myrmicini

1) *Myrmica angulinodis* Ruzsky

Myrmica angulinodis Ruzsky, 1905

[南韓] 釋王寺,52; 俗離山,2,3,4; 紅島,7; 大黒山島,7; 江華島,6; 濟州島,3,4; 南山,74; 鷄龍山,75; 南海島,32; 閑山島,32; 月岳山,3,4; 小白山,3,4. [北韓] 平壤,9; Kangwon,9.

9) *Ponera scabra* Wheeler

Ponera scabra Wheeler, 1928

[南韓] 俗離山,2,3,4; 江華島,6; 濟州島,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 閑山島,32; 南山,74; 鷄龍山,75; 釜山,32. [北韓] 平壤,9; Kangwon,9.

10) *Hypoponera gleadowi* (Forel)

Ponera gleadowi Forel, 1895

Hypoponera gleadowi; Onoyama, 1989

[南韓] 水原,50; 釋王寺, 50.

11) *Hypoponera sauteri* (Forel) *2)

Ponera gleadowi var. *sauteri* Forel, 1912

Hypoponera sauteri; Onoyama, 1989

[南韓] 大黒山島,7; 江華島,6; 濟州島,3,4; 俗離山,3,4; 月岳山,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 閑山島,32; 釜山,32; 鷄龍山,75; 德積島,56; 南山,74.

12) *Hypoponera nippona* (Santschi)

Ponera nippona Santschi, 1937

Hypoponera nippona; Ogata, 1987

[南韓] 德積島,56.

S u b f a m i l y C E R A P A C H Y I N A E

Tribe Cerapachyini

1) *Cerapachys humicola* Ogata *3)

Cerapachys humicola Ogata, 1983

[南韓] 南山,74.

S u b f a m i l y M Y R M I C I N A E

Tribe Myrmicini

1) *Myrmica angulinodis* Ruzsky

Myrmica angulinodis Ruzsky, 1905

[北韓] Ryang-gang, 9.

2) *Myrmica incurvata* Collingwood

Myrmica incurvata Collingwood, 1976

[北韓] Ryang-gang, 9.

3) *Myrmica jessensis* Forel *^o

Myrmica lobicornis jessensis Forel, 1901

Myrmica jessensis[!]; Collingwood, 1976

[南韓] 智異山, 24; 江華島, 6; 濟州島, 3, 4; 俗離山, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 雪岳山, 3,

4. [北韓] Ryang-gang, 9.

4) *Myrmica kaczenkoi* Ruzsky

Myrmica kaczenkoi Ruzsky, 1905

[北韓] 平壤, 9.

5) *Myrmica kurokii* Forel

Myrmica kurokii Forel, 1907.

[南韓] 洪川郡桂芳山, 17, 25; 小白山, 17; 雪岳山, 17; 智異山, 17.

6) *Myrmica ruginodis kotokui* Forel *^o

Myrmica ruginodis var. *kotokui* Forel, 1911

Myrmica kotokui; Collingwood, 1976

Myrmica ruginodis kotokui; Onoyama, 1989

[南韓] 漢拏山, 8; 洪川, 36; 紅島, 7; 濟州島, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 雪岳山, 3, 4; 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 24. [北韓] Ryang-gang, 9; Sam-zi-san, 10; 平壤, 10; 元山, 13; Koredshi, 13; Dore, 13; 金剛山, 52.

7) *Myrmica* sp. A (= *Myrmica sulcinodis* ?) *^o

Myrmica sp. 1; Ogata et al., 1985

Myrmica sp.; Choi, 1985

[南韓] 洪川, 36; 俗離山, 2; 智異山, 24; 春川市, 31; 小白山, 31.

8) *Myrmica* sp. B *^o

Myrmica sp. 2 (nr. *schenki*); Ogata et al., 1985

[南韓] 洪川, 36.

Tribe Pheidolini

9) *Stenamma owstoni* Wheeler

Stenamma owstoni Wheeler, 1906

[北韓] Kaesong, 9; 平壤, 10.

10) *Aphaenogaster famelica* (Fr. Smith) *⁸⁾

Ischnomyrmex famelicus Fr. Smith, 1874

Stenamma (*Aphaenogaster*) *famelicum*; Wheeler, 1906

Aphaenogaster famelica; Mayr, 1878

Aphaenogaster famelica ruida Wheeler, 1928 [Provisional]

Aphaenogaster ruida; Collingwood, 1976

[北韓] 平壤, 9; 金剛山, 10.

11) *Aphaenogaster schmidti* Karawajew *⁹⁾

Aphaenogaster schmidti Karawajew, 1912

[南韓] 水原, 52; Tshaansa, 13.

12) *Aphaenogaster smithiesi japonica* Forel *⁹⁾

Aphaenogaster schmitzi japonica Forel, 1911

Aphaenogaster (*Attomyrma*) *syriaca japonica*; Emery, 1921

Aphaenogaster (*Attomyrma*) *smithiesi japonica*; Wheeler, 1928

Aphaenogaster japonica; Choi et al., 1985

[南韓] 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 24; 漢拏山, 8; 紅島, 7; 江華島, 6; 濟州島, 3, 4; 梧桐島, 3, 4; 清州, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 雪岳山, 3, 4; 南海島, 32; 巨濟島, 32; 欲知島, 32; 閑山島, 32; 每勿島, 32; 釜山, 32; 忠武, 32; 京城, 59; 南山, 74; 鷄龍山, 75.

13) *Aphaenogaster tipuna* Forel

Aphaenogaster rothneyi tipuna Forel, 1913

Aphaenogaster tipuna; Santschi, 1937

Aphaenogaster sp.; Choi & Kim, 1987.

[南韓] 大黑山島, 7, 56; 巨文島, 56.

14) *Messor aciculatus* (Fr. Smith)

Aphaenogaster aciculata Fr. Smith, 1874

Stenamma (*Messor*) *aciculatum*; Wheeler, 1906

Aphaenogaster (*Attomyrma*) *aciculata*; Emery, 1921

Messor aciculatum; Teranishi, 1925

Messor aciculatus; Wheeler, 1928

[南韓] 閑山島, 32; 每勿島, 32; 忠武, 32; 濟州島, 3, 4; 突山島, 3, 4; 清州, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 雪岳山, 3, 4; 欲知島, 32; 始興郡儀旺面, 17, 25; 春城郡新北面, 17, 25; 南海島, 26; 蛇梁島, 26; 水原, 46, 50, 52; 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 24; 江華島, 6; 南山, 74; 鷄龍山, 75; Seoul,

31. [北韓] Kangwon, 9.

15) *Pheidole fervida* Fr. Smith *10)

Pheidole fervida Fr. Smith, 1874

Pheidole fervida var. *kawazana* Teranishi, 1940 [Provisional]

[南韓] 每勿島, 32; 南海島, 32; 巨濟島, 32; 蛇梁島, 32; 欲知島, 32; 閑山島, 32; 義昌, 32; 釋王寺, 52; 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 24; 漢拏山, 8; Seoul, 36; 禮山郡, 36; 紅島, 7; 江華島, 7; 濟州島, 3, 4; 梧桐島, 3, 4; 清州, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 南山, 74; 鷄龍山, 75; 雪岳山, 3, 4. [北韓] 金剛山, 52; 平壤, 9; Kaesong, 9.

16) *Pheidole indica* Mayr

Pheidole indica Mayr, 1878

[南韓] 濟州島, 3, 4; 俗離山, 3, 4; 清州, 3, 4; 蛇梁島, 32.

17) *Pheidole nodus* Fr. Smith *11)

Pheidole nodus Fr. Smith, 1874

[南韓] 智異山, 24; 漢拏山, 8; 鬱陵島, 16; 濟州島, 3, 4; 南海島, 32; 巨濟島, 32; 蛇梁島, 32; 欲知島, 32; 閑山島, 32; 釜山, 32; 忠武, 32.

18) *Pheidole pieli* Santschi

Pheidole pieli Santschi, 1925

[南韓] 蛇梁島, 26. [北韓] 平壤, 9; Kangwon, 9; Gang-von, 10.

Tribe Leptothoracini

19) *Leptothorax acervorum* (Fabricius)

Formica acervorum Fabricius, 1793

Leptothorax acervorum; Mayr, 1855

[南韓] 智異山, 22; 濟州島, 3, 4; 雪岳山, 3, 4. [北韓] Ryang, 10.

20) *Leptothorax congruus* Fr. Smith *12)

Leptothorax congruus Fr. Smith, 1874

[南韓] 智異山, 24; Seoul, 18, 31; 楊州郡長興面, 18, 31; 濟州島, 3, 4; 俗離山, 3, 4; 鷄龍山, 75; 清州, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 南海島, 32; 巨濟島, 32; 閑山島, 32. [北韓] Kaesong, 9.

21) *Leptothorax koreanus* Teranishi

Leptothorax (*Nesomyrmex*) *koreanus* Teranishi, 1940

[南韓] 水原, 52; 金浦郡陽村面, 18, 31.

22) *Leptothorax nassonovi* Ruzsky

Leptothorax nassonovi Ruzsky, 1896

[北韓] 平壤,9,10; Kaesong,9.

23) *Leptothorax rabaudi* Bondroit

Leptothorax rabaudi Bondroit, 1918

[北韓] 平壤,9.

24) *Leptothorax serviculus* Ruzsky

Leptothorax serviculus Ruzsky, 1902

[北韓] Kaesong,9; Kangwon,9;金剛山,10.

25) *Leptothorax spinosior* Forel

Leptothorax congruus var. *spinosior* Forel, 1901

Leptothorax congruus spinosior; Teranishi, 1940

Leptothorax spinosior; Terayama & Satoh, 1990

[南韓] 水原,52; 釋王寺,52; 俗離山,2; 紅島,7; 大黒山島,7; 江華島,6; 濟州島,3,4; 清州,3,4; 小白山,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 蛇梁島,32; 欲知島,32; 每勿島,32; 南山,74; 鷄龍山,75. [北韓] 金剛山,52.

26) *Leptothorax* sp. A *¹³⁾

Leptothorax sp. A; Choi, 1988

[南韓] 江華島,6; 南海島,32; 俗離山,2,3,4; 大黒山島,7; 濟州島,3,4; 月岳山,3,4; 小白山,3,4.

27) *Leptothorax* sp. B (= *L. nassonovi* ?) *¹⁴⁾

Leptothorax sp.; Choi, 1986

[南韓] 江華島,6.

Tribe Tetramoriini

28) *Tetramorium bicarinatum* (Nylander) *¹⁵⁾

Formica bicarinata Nylander, 1846

Tetramorium guineense (Fabricius, 1793) sensu Mayr, 1862, etc.

Tetramorium bicarinatum; Bolton, 1977

韓国(南韓?), 41.

29) *Tetramorium caespitum* (Linnaeus)

Formica caespitum Linnaeus, 1758

Tetramorium caespitum; Mayr, 1855

Tetramorium caespitum semileve var. *jacoti* Wheeler, 1923

[Syn. by Yasumatsu, 1962]

[南韓] 水原,50,52,56; Shunsen,52; 俗離山,2,3,4; 智異山,24; 漢拏山,8; Seoul,18,31,36; 洪川,36; 禮山郡,36; 大川市,36; 巨濟島,32; 蛇梁島,32; 濟州島,3,4; 突山島,3,4; 欲知島,32; 閑山島,32; 清州,3,4; 月岳山,3,4; 每勿島,32; 釜山,32; 紅島,7; 大黑山島,7; 江華島,6; 小白山,3,4,18,31; 鎮東,32; 鎮海,32; 楊州郡真乾面,18,31; 楊州郡長興面,18,31; 忠武,32; 義昌,32; 鬱陵島,16; 始興郡儀旺面,18; 瑞山郡南面,18; 金浦郡陽村面,18; 廣州郡東部面,18; 春城郡新北面,18; 春川市,18; 三涉郡,18; 橫城郡安興面,18; 橫城郡甲川面,18; 智異山,17; 南海島,18,32; 太田市,18; 平昌郡芳林面,18; 薪知島,18; 雪岳山,3,4,18; 智異山, 白羊寺,18; 抱川,18; 雉岳山,18; 文甲島,18; 伽耶山,18; 南山,74; 鷄龍山,75; 昇州郡仙岩寺,18; 梧桐島,3,4; 冠岳山,18; 順川市,18. [北韓] 平壤,9,10; Ryang-gang,9; Kaesong,9; Kangwon,9; Myohyang Mts.,42; 金剛山, 50, 52.

30) *Strongylognathus koreanus* Pisarski

Strongylognathus koreanus Pisarski, 1966

[南韓] 蛇梁島,32. [北韓] Myohyang Mts.,42.

Tribe Solenopsidini

31) *Monomorium chinense* Santschi

Monomorium minutum var. *chinense* Santschi, 1925

Monomorium minutum; Teranishi, 1940

Monomorium chinense; Bolton, 1987

[南韓] 紅島,5,7; 漢拏山,5; 突山島,3,4,5; 濟州島,3,4; 梧桐島,3,4; 清州,3,4; 月岳山,3,4; 雪岳山,3,4; 南海島,26; 巨濟島,32; 蛇梁島,32; 欲知島,32; 閑山島,32; 釜山,32; 鎮東,32; 鎮海,32; 忠武,32. [北韓] 金剛山,52.

32) *Monomorium triviale* Wheeler

Monomorium triviale Wheeler, 1906

[南韓] 大黑山島,7,9.

33) *Monomorium intrudens* Fr. Smith *¹⁶⁾

Monomorium intrudens Fr. Smith, 1871

Monomorium nipponense Wheeler, 1906 [Syn. by Bolton, 1987]

[南韓] 紅島,5,7,56; 漢拏山,5; 南海島,32,56; 巨濟島,32; 閑山島,32; 每勿島,32; 忠武,32.

34) *Monomorium pharaonis* (Linnaeus) *¹⁷⁾

Formica pharaonis Linnaeus, 1758

Monomorium pharaonis; Mayr, 1862

[南韓] 清州市, 3, 4, 5; Seoul, 18, 31; 濟州島, 3, 4; 俗離山, 3, 4; 南海島, 32. [北韓] 平壤, 9, 10.

35) *Solenopsis japonica* Wheeler ^{*18)}

Solenopsis fugax var. *japonica* Wheeler, 1928

Solenopsis japonica; Collingwood, 1976

Diplorhoptrum japonicum; Choi, 1986

[南韓] 濟州島, 3, 4; 突山島, 3, 4; 梧桐島, 3, 4; 俗離山, 3, 4; 清州, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 雪岳山, 3, 4; 紅島, 7; 江華島, 6; 春城郡新北面, 18, 31; 廣州郡東部面, 18, 31; 楊州郡長興面, 18, 31; Seoul, 18, 31; 南海島, 32; 巨濟島, 32; 蛇梁島, 32; 南山, 74; 鷄龍山, 75; 欲知島, 32; 閑山島, 32; 釜山, 32, 48; 水原, 48; 義昌, 32. [北韓] Kangwon, 9; Kaesong, 9; 金剛山, 48.

36) *Solenopsis* sp. ^{*18)}

[南韓] 鷄龍山, 75.

Tribe Metaponini

37) *Vollenhovia emeryi chosonica* Wheeler ^{*19)}

Vollenhovia emeryi chosonica Wheeler, 1928

Vollenhovia emeryi; Choi et al., 1985, etc.

[南韓] 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 24; 漢拏山, 8; 大黑山島, 7; 江華島, 6; 濟州島, 3, 4; 突山島, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 南海島, 32; 巨濟島, 32; 蛇梁島, 32; 閑山島, 32; 每勿島, 32; 忠武, 32; 南山, 74; 鷄龍山, 75.

Tribe Myrmecini

38) *Myrmecina graminicola nipponica* Wheeler ^{*20)}

Myrmecina graminicola nipponica Wheeler, 1906

[南韓] 水原, 52; 江華島, 6; 俗離山, 2, 3, 4; 濟州島, 3, 4; 小白山, 3, 4; 南山, 74.

39) *Pristomyrmex pungens* Mayr

Pristomyrmex pungens Mayr, 1866

Pristomyrmex japonicus Forel, 1900 [Syn. by Viehmeyer, 1922]

[南韓] 義昌, 32; 南海島, 32; 巨濟島, 32; 蛇梁島, 32; 欲知島, 32; 閑山島, 32; 每勿島, 32; 釜山, 32; 鎮東, 32; 忠武, 32; 水原, 50, 52; 江華島, 6; Gumpojo, 52; 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 24, 31; 漢拏山, 8; 洪川, 36; Seoul, 36; 青陽郡, 36; 禮山郡, 36; 大川市, 36; 楊州郡長興面, 18, 31; 慶州郡東部面, 18, 31; 金浦郡陽村面, 18, 31; 紅島, 7; 大黑山島, 7; 智異山, 18; 雪岳山, 18; 抱川郡, 18; 雉岳山, 18; 昇州郡, 18; 濟州島, 3, 4; 突山島, 3, 4; 梧桐島, 3, 4; 清州, 3, 4; 南山, 74; 鷄龍山, 75; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4. [北韓] 平壤, 9, 10; Kaesong, 9; Sa-mo-san, 10; 金剛山, 10, 50, 52.

Tribe Crematogastrini

- 40) *Crematogaster brunnea teranishii* Santschi
Crematogaster brunnea teranishii Santschi, 1930
Crematogaster teranishii; Choi et. al., 1986
 [南韓] 俗離山,2; 漢拏山,8; 紅島,7; 大黒山島,7; 江華島,6; 南海島,26; 蛇梁島,26; 閑山島,26; 忠武,26; 鷄龍山,75.
- 41) *Crematogaster matsumurai* Forel *21)
Crematogaster laboriosa var. *matsumurai* Forel, 1901
Crematogaster matsumurai; Wheeler, 1928
 [南韓] 紅島,7; 江華島,6; 廣州郡東部面,25; 濟州島,3,4; 突山島,3,4; 梧桐島,3,4; 俗離山,3,4; 清州,3,4; 小白山,3,4; 南海島,26; 蛇梁島,26; 欲知島,26; 每勿島,26; 鎮海,26; 南山,74; 鷄龍山,75. [北韓] 平壤,9,10.
- 42) *Crematogaster osakensis* Forel *22)
Crematogaster sordidula var. *osakensis* Forel, 1900
Crematogaster sordidula osakensis; Brown, 1949
Crematogaster osakensis; Collingwood, 1976
 [南韓] 南海島,32; 欲知島,32; 閑山島,32; 每勿島,32; 釜山,32; 鎮海,32,59; 忠武,32; 廣州郡東部面,18,31; 金浦郡陽村面,18,31; 春川市,18,31; 楊州郡長興面,18,31; Seoul,36; 青陽郡,36; 禮山郡,36; 紅島,7; 大黒山島,7; 江華島,6; 巨濟島,32; 南山,74; 鷄龍山,75; 水原,50,52; 濟州島,3,4,50,52; 俗離山,2,3,4; 漢拏山,8; 突山島,3,4; 梧桐島,3,4; 清州,3,4; 月岳山,3,4; 小白山,3,4. [北韓] 平壤,9; Kaesong,9.
- 43) *Crematogaster matsumurai vagula* Wheeler
Crematogaster matsumurai vagula Wheeler, 1928
Crematogaster brunnea ruginota var. *vagula*; Santschi, 1930
Crematogaster vagula; Ogata et al., 1985
 [南韓] 濟州島,3,4; 突山島,3,4; 俗離山,3,4; 清州,3,4; 月岳山,3,4; 小白山,3,4; 大川市,36.

Tribe Dacetini

- 44) *Strumigenys lewisi* Cameron
Strumigenys lewisi Cameron, 1887

Strumigenys lewisi; Brown, 1949

[南韓] 濟州島,3,4; 梧桐島,3,4; 月岳山,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 閑山島,32; 鎮海,32;
水原,50,53; 裕離山,2,3,4; 漢拏山,8; 紅島,7; 大黑山島,7; 江華島,6; 南山,74; 鷄龍山,75.

[北韓] Kaesong,9.

45) *Strumigenys* sp. *23)

[南韓] 仁川; 德積島.

46) *Smithistruma japonica* (Ito) *24)

Strumigenys japonicus Ito, 1914

Smithistruma (*Smithistruma*) *japonica*; Brown, 1948

Weberistruma japonica; Brown, 1949

Smithistruma japonica; Bolton, 1983

[南韓] 居金島, 76.

47) *Kyidris mutica* Brown *25)

[南韓] 大黑山島, 77.

48) *Epitritus hexamerus* Brown *25)

[南韓] 所安島, 77.

Tribe Attini

49) *Proatta* sp. *25)

[南韓] 所安島 (金・崔・方, 1991).

S u b f a m i l y D O L I C H O D E R I N A E

Tribe Dolichoderini

1) *Hypoclinea sibirica* (Emery)

Dolichoderus (*Hypoclinea*) *quadripunctatus sibiricus* Emery, 1889

Dolichoderus sibiricus; Yasumatsu, 1941

Hypoclinea sibirica; Morisita et al., 1988

[南韓] 京城,63; 漢拏山,8. [北韓] 平壤,9; Za-mo-san,10.

Tribe Tapinomini

2) *Iridomyrmex glaber* (Mayr)

Hypoclinea glabra Mayr, 1862

Iridomyrmex glaber; Mayr, 1865

[南韓] 漢拏山,8; 紅島,7; 濟州島,3,4; 突山島,3,4; 梧桐島,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 蛇梁島,32; 閑山島,32; 每勿島,32.

3) *Tapinoma sinense* Emery

Tapinoma sinense Emery, 1925

[北韓] 平壤,9; Pyongan,10; 金剛山,10.

4) *Tapinoma geei* Wheeler

Tapinoma geei Wheeler, 1927

[北韓] Heigo, 59.

5) *Tapinoma wroughtoni* Forel

Tapinoma wroughtoni Forel, 1904

[北韓] 平壤, 9.

6) *Bothriomyrmex wroughtoni* Forel *²⁶⁾

Bothriomyrmex wroughtoni Forel, 1895

[北韓] Hejio, 59.

7) *Technomyrmex albipes* (Fr. Smith) *²⁷⁾

Formica (*Tapinoma*) *albipes* Fr. Smith, 1861

Technomyrmex albipes; Emery, 1888

[北韓] 平壤, 9.

8) *Technomyrmex gibbosus* Wheeler

Technomyrmex gibbosus Wheeler, 1906

[南韓] 水原,50,54; 紅島,7; 江華島,6; 濟州島,3,4; 清州,3,4.

s u b f a m i l y F O R M I C I N A E

Tribe Plagiolepidini

1) *Plagiolepis flavescens* Collingwood

Plagiolepis flavescens Collingwood, 1976

[南韓] 洪川,36; 紅島,7; 濟州島,3,4; 梧桐島,32; 南海島,32; 巨濟島,32; 蛇梁島,32; 閑山島,32; 鷄龍山,75; 忠武,32. [北韓] Kaesong,9; Gang-von,10.

2) *Plagiolepis manczshurica* Ruzsky

Plagiolepis manczshurica Ruzsky, 1905

Plagiolepis mandzurica [!]; Collingwood, 1976, etc.

[南韓] 俗離山,2,3,4; 智異山,24; 漢拏山,8; 禮山郡,36; 大川市,36; 大黒山島,7; 江華島,6; 濟州島,3,4; 突山島,3,4; 清州,3,4; 月岳山,3,4; 小白山,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 蛇梁島,32; 欲知島,32; 閑山島,32; 義昌,32; 南山,74; 鷄龍山,75. [北韓] 平壤,9,10.

3) *Plagiolepis pygmaea* (Latreille)

Formica pygmaea Latreille, 1798

Tapinoma pygmaea; Schenck, 1852

Plagiolepis pygmaea; Mayr, 1861

[南韓] 水原,52; Gumpojo,52. [北韓] 金剛山, 52.

Tribe Lasiini

4) *Prenolepis melanogaster* Emery

Prenolepis melanogaster Emery, 1894

[北韓] Ryang-Gang, 10.

5) *Paratrechina flavipes* (Fr. Smith)

Tapinoma flavipes Fr. Smith, 1874

Prenolepis flavipes; Mayr, 1886

Paratrechina flavipes; Emery, 1925

[南韓] 蛇梁島,32; 閑山島,32; 每勿島,32; 釜山,32; 鎮東,32; 鎮海,32; 忠武,32; 義昌,32; 突山島,3,4; 梧桐島,4,5; 清州,3,4; 月岳山,3,4; 小白山,3,4; 雪岳山,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 水原,49,52; 江華島,6; 鬱陵島,16; 智異山,24; 漢拏山,8; 洪川,36; Seoul (京城), 36,59; 青陽郡,36; Shunsen,52; 俗離山,2,3,4; 禮山郡,36; 大川市,36; 紅島,7; 濟州島,3,4; 南山,74; 鷄龍山,75. [北韓] Kaesong,9; Kangwon,9; 平壤, 10; Gang-von,10; 金剛山, 49.

6) *Paratrechina sauteri* (Forel)

Prenolepis (Nylanderia) minutula sauteri Forel, 1913

Paratrechina sauteri; Collingwood, 1976

[北韓] Kaesong,9; Kangwon,9; 平壤, 9,10.

7) *Paratrechina sakurae* (Ito)

Prenolepis sakurae Ito, 1914

Paratrechina sakurae; Emery, 1925

[南韓] 南海島,32; 巨濟島,32; 欲知島,32; 閑山島,32; 釜山,32; 濟州島,3,4; 突山島,3,4; 清州,3,4; 月岳山,3,4; 小白山,3,4; 雪岳山,3,4; 水原,49,52; 鷄龍山,75; 俗離山,2,3,4;

Seoul, 36; 紅華島, 6. [北韓] Kaesong, 9; 平壤, 10; Gang-von, 10; 金剛山, 37, 39.

8) *Lasius alienus* (Foerster)

Formica alienus Foerster, 1850

Lasius alienus; Emery, 1878

[南韓] 清州, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 南海島, 32; 釜山, 32; 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 24; 漢拏山, 8; 江華島, 6; 鬱陵島, 16; 濟州島, 3, 4; 南山, 74; 鷄龍山, 75. [北韓] 平壤, 9; Kaesong, 9; Ryang-gang, 10; 金剛山, 10.

9) *Lasius brunneus* (Latreille) *20)

Formica brunnea Latreille, 1798

Lasius brunneus; Wilson, 1955

[南韓] 智異山, 24; 江華島, 6; 濟州島, 3, 4; 俗離山, 3, 4; 清州, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 雪岳山, 3, 4; 南海島, 32; 每勿島, 32; 南山, 74; 鷄龍山, 75.

10) *Lasius hayashi* Yamauchi & Hayashida

Lasius hayashi Yamauchi & Hayashida, 1970

[南韓] 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 3, 4; 雪岳山, 3, 4. [北韓] 平壤, 9, 10; Ryang-gang, 9, 10; Kaesong, 9; Gang-von, 10.

11) *Lasius niger* (Linnaeus)

Formica nigra Linnaeus, 1758

Lasius niger; Fabricius, 1805

[南韓] 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 24; Tshaansa, 13; Chvadyun, 13; Gensan, 13; Kesne, 13; Pondshe, 13; 漢拏山, 8; 洪川, 36; 紅島, 7; 江華島, 6; 大黑山島, 7; 濟州島, 3, 4; 梧桐島, 3, 4; 清州, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 雪岳山, 3, 4; 南海島, 32; 巨濟島, 32; 欲知島, 32; 閑山島, 32; 釜山, 32; 鎮海, 32; 忠武, 32; 南山, 74; 鷄龍山, 75. [北韓] 平壤, 9, 10; Ryang-gang, 9, 10; Kangwon, 9; Pyong-sung, 10; Gang-von, 10.

12) *Lasius flavus* (Fabricius)

Formica flava Fabricius, 1781

Lasius flavus; Mayr, 1861

Lasius flavus var. *myopus* Forel, 1894 [Syn. by Wilson, 1955]

[南韓] 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 24; 漢拏山, 8; 江華島, 6; 濟州島, 3, 4; 清州, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 雪岳山, 3, 4; 南海島, 32; 鷄龍山, 75. [北韓] Ze-don-san, 10; 金剛山, 10.

13) *Lasius talpa* Wilson *20)

Lasius talpa Wilson, 1955

Lasius flavus myopus; Teranishi, 1940

[南韓] 水原, 52; 俗離山, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 蛇梁島, 32; 南山, 74; 鷄龍山, 75.

14) *Lasius meridionalis* (Bondroit)

Formica meridionalis Bondroit, 1919

Lasius umbratus var. *meridionalis*; Viehmeyer in Emery, 1922

Lasius rabaudi; Wilson, 1955

Lasius meridionalis; Pisarski, 1975

[南韓] 俗離山, 2, 3, 4; 鷄龍山, 75. [北韓] Ryang-Gang, 10.

15) *Lasius umbratus* (Nylander)

Formica umbrata Nylander, 1846

Lasius umbratus; Mayr, 1861

Lasius rabaudi Bondroit, 1917 [Syn. by Wilson, 1955]

Lasius umbratus var. *mixto-umbratus* Forel, 1874 [Syn. by Wilson, 1955]

Lasius mixta Nylander, 1846 [Syn. by Wilson, 1955]

Lasius umbratus mixtus; Forel, 1874

[南韓] 俗離山, 2, 3, 4. [北韓] Palmak, 13; Singes, 13; 平壤 (Hejio), 9, 59.

16) *Lasius crispus* Wilson

Lasius crispus Wilson, 1955

[南韓] 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 22; 小白山, 3, 4; 鷄龍山, 75. [北韓] Kaesong, 9.

17) *Lasius fuliginosus* (Latreille)

Formica fuliginosa Latreille, 1798

Lasius fuliginosus; Mayr, 1861

Lasius fuliginosus orientalis Karawajew, 1912 [Syn. by Wilson, 1955]

[南韓] 鬱陵島, 15; 水原, 57; 釜山, 57. [北韓] Koredshi, 13; Dore, 13; 平壤, 9; Gang-von, 10; Za-mo-san, 10.

18) *Lasius spathepus* Wheeler

Lasius spathepus Wheeler, 1910

Lasius fuliginosus var. *spathepus*; Teranishi, 1927

[南韓] 雪岳山, 3, 4; 水原, 49, 52; 漢拏山, 8; 紅島, 7; 江華島, 6; 濟州島, 3, 4; 清州, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 釋王寺, 52; 俗離山, 2, 3, 4; 智異山, 24; 鷄龍山, 75; 南海島, 32; 每勿島, 32. [北韓] 金剛山, 49, 52.

19) *Lasius teranishii* Wheeler

Lasius teranishii Wheeler, 1928

[南韓] 俗離山, 2, 3, 4; 月岳山, 3, 4; 小白山, 3, 4; 雪岳山, 3, 4; 鷄龍山, 75. [北韓] Kaesong, 9.

Tribe Formicini

- 20) *Formica fusca* Linnaeus
Formica fusca Linnaeus, 1758
 [南韓] 濟州島,15 ; 巨文島,15.
- 21) *Formica lemani* Bondroit
Formica lemani Bondroit, 1917
 [南韓] 智異山,24 ; 漢拏山,8 ; 濟州島,3,4 ; 小白山,3,4 ; 雪岳山,3,4.
 [北韓] Ryang-gang,9,10.
- 22) *Formica japonica* Motschulsky
Formica japonica Motschulsky, 1886
Formica fusca var. *japonica*; Emery, 1909
Formica fusca japonica; Emery, 1925
Formica japonica; Dlussky, 1967
 [南韓] 水原,49,52,54; 俗離山,2,3,4 ; 智異山,24 ; 漢拏山,8 ; 洪川,36 ; Seoul,36; 保寧郡,36 ; 青陽郡,36 ; 禮山郡,36 ; 大川市,36 ; 江華島,6 ; 濟州島,3,4 ; 突山島,3,4 ; 梧桐島,3,4 ; 淸州,3,4 ; 月岳山,3,4 ; 小白山,3,4 ; 雪岳山,3,4 ; 南海島,32 ; 巨濟島,32 ; 蛇梁島,32 ; 欲知島,32 ; 閑山島,32 ; 每勿島,32 ; 釜山,32,59 ; 鎮東,32 ; 南山,74 ; 鷄龍山,75; 鎮海,32 ; 忠武,32 ; 義昌,32.
 [北韓] 金剛山,52 ; Kangwon,9; Kaesong,9; 平壤,10 ; Gang-von,10.
- 23) *Formica transcaucasica* Nasonov
Formica transcaucasica Nasonov, 1889
Formica picea Nylander, 1846 [Nec *picea* Leach, 1925]
 [南韓] 漢拏山,8 ; 濟州島,3,4.
- 24) *Formica* sp. *³⁰⁾
Formica sp. ; Choi et al., 1986
 [南韓] 俗離山,2,3,4 ; 漢拏山,8 ; 濟州島,3,4.
- 25) *Formica sanguinea* Latreille
Formica sanguinea Latreille, 1798
 [南韓] 小白山,3,4. [北韓] Ryang-gang,9,10.
- 26) *Formica lugubris* Zetterstedt *³¹⁾
Formica lugubris Zetterstedt, 1840
 [北韓] Ryang-gang,9.
- 27) *Formica yessensis* Forel *³¹⁾

Formica truncorum var. *yessensis* Forel, 1901

Formica rufa *truncicola* var. *yessensis*; Wheeler, 1906

Formica truncorum var. *yessensis*; Wheeler, 1933

Formica sp. ; Kim & Kim, 1973

Formica yessensis ; Collingwood, 1976

[南韓] 京城,45,49,52 ; 慶尚南道,22,23,35 ; 華山,49,52 ; 水原,49,52 ; 裕離山,2,3,4 ; 智異山,24 ; 洪川,36 ; 月岳山,3,4 ; 小白山,3,4 ; 雪岳山,3,4 ; 南海島,32 ; 巨濟島,32 ; 蛇梁島,32 ; 閑山島,32. [北韓] Kaesong,9;平壤,10 ; 金剛山,10,49,52.

28) *Formica truncorum* Fabricius

Formica truncorum Fabricius, 1804

Formica rufa *truncicola* var. *truncicolo-pratensis* Forel, 1874 [See Dlussky,1967]

[南韓] 江原道, 19.

29) *Polyergus samurai* Yano

Polyergus rufescens *samurai* Yano, 1911

Polyergus samurai ; Emery, 1925

[南韓] 水原,47,52 ; 裕離山,3,4. [北韓] 金剛山, 47,52.

Tribe Camponotini

30) *Camponotus atrox* Emery **40

Camponotus japonicus var. *atrox*; Karawajew, 1912

Camponotus japonicus var. *atrox* Emery, 1925 [Pro *cruentata* Karawajew, nec Latreille]

Camponotus herculeanus *japonicus cruentata* Karawajew, 1912

Camponotus japonicus var. *atrox*; Karawajew, 1912 [See Karawajew, 1929]

Camponotus atrox; Yasumatsu & Brown, 1957

[南韓] 裕離山, 2,3,4 ; 智異山,24 ; 漢拏山,8 ; 濟州島, 3,4 ; 月岳山,3,4 ; 鷄龍山,75 ; 小白山,3,4 ; 雪岳山,3,4. [北韓] Tshin-jasi-san, 17;Tshaansa,14;Kaesong,19;Gang-von,10.

31) *Camponotus herculeanus sachalinensis* Forel

Camponotus herculeanus var. *sachalinensis* Forel, 1905

Camponotus herculeanus sachalinensis; Collingwood, 1976

Camponotus sachalinensis; Collingwood, 1981

[北韓] Kaesong,11;Ryang-gang,11,12.

32) *Camponotus japonicus* Mayr

Camponotus japonicus Mayr, 1866

Camponotus herculeanus japonicus var. *sanguinea* Karawajew, 1929

[Syn. by Yasumatsu & Brown, 1951]

Camponotus herculeanus var. *koreanus* Teranishi [Syn. by Yasumatsu & Brown, 1951]

Camponotus herculeanus japonicus var. *aterrima* Karawajew, 1912

[See Karawajew, 1929; Syn. by Yasumatsu & Brown, 1951]

[南韓] 水原,49,52; 仁川,58,59; 智異山,24; 漢拏山,8; 洪川,36; Seoul,36; 保寧郡,36; 禮山郡,36; 大川市,36; 江華島,6; 濟州島,3,4; 突山島,3,5; 梧桐島,5,6; 清州,3,4; 俗離山,3,4; 月岳山,3,4; 小白山,3,4; 雪岳山,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 蛇梁島,32; 欲知島,32; 閑山島,32; 每勿島,32; 釜山,32; 鎮東,32; 南山,74; 鷄龍山,75; 鎮海,32; 忠武,32; 義昌,32. [北韓] 金剛山,55; 成鏡南北道,11; Tshaansa,13; Pongse,13; Chvady,14; Palmak,14; 元山,14; Singes,14; Tshyktenj,14; 平壤,9,10; Kaesong,9; Kangwon,9; Ryang Gang,10; Pyong Sung,10; Gang-von,10.

33) *Camponotus kiusiuensis* Santschi *32)

Camponotus (*Paramyrmamblys*) *kiusiuensis* Santschi, 1937

[南韓] 俗離山,2,3,4; 紅島,7; 鬱陵島,16; 濟州島,3,4; 月岳山,3,4; 南海島,32; 鷄龍山,75.

34) *Camponotus keihittoi* Forel

Camponotus fallax var. *Forel*, 1913

Camponotus caryae var. *keihittoi*; Wheeler, 1923

Camponotus keihittoi; Terayama & Satoh, 1990

[南韓] 紅島,7.

35) *Camponotus quadrinotatus* Forel

Camponotus mariginatus var. *quadrinotatus* Forel, 1886

Camponotus (*Myrmentoma*) *caryae* var. *quadrinotatus*; Wheeler, 1928

Camponotus quadrinotatus; Collingwood, 1976; Wang, Xiao & Wu, 1989

[南韓] 水原,49,52; 釋王寺,49,52; 俗離山,2,3,4; 濟州島,3,4; 突山島,3,4; 梧桐島,3,4; 清州,3,4; 雪岳山,3,4; 鷄龍山,75. [北韓] 平壤,9,10; Kaesong,9; Gang-von,10.

36) *Camponotus itoi* Forel

Camponotus (*Myrmamblys*) *itoi* Forel, 1912

[南韓] 江華島,6; 濟州島,3,4; 南海島,32; 鷄龍山,75. [北韓] De-sang san,10.

37) *Camponotus jejuensis* Kim & Kim *33)

Camponotus jejuensis Kim & Kim, 1986

[南韓] 濟州島,21; 黒山島, 21.

38) *Camponotus nipponensis* Santschi *³⁴⁾

Camponotus nipponensis Santschi, 1937

[南韓] 俗離山, 2,3,4; 小白山,3,4; 雪岳山, 3,4; 鷄龍山,75.

39) *Camponotus tokioensis* Ito

Camponotus tokioensis Ito, 1912 *³⁵⁾

Camponotus (*Myrmentoma*) *itoi tokioensis*; Emery, 1925

Camponotus (*Myrmamblys*) *itoi tokioensis*; Wheeler, 1928

Camponotus (*Myrmentoma*) *tokioensis*; Menozzi, 1940

[南韓] 智異山,24; 漢拏山,8; 紅島,7; 大黒山島,7; 江華島,6; 濟州島,3,4; 突山島,3,4; 南海島,32; 巨濟島,32; 蛇梁島,32; 欲知島,32; 閑山島,32; 每勿島,32; 釜山,32; 義昌,32; 鷄龍山,75.

40) *Camponotus nipponicus* Wheeler

Camponotus (*Colobopsis*) *nipponicus* Wheeler, 1928

[南韓] 突山島,3,4; 梧桐島,3,4; 南海島,32; 每勿島, 32.

41) *Polyrhachis lamellidens* Fr. Smith

Polyrhachis lamellidens Fr. Smith, 1874

[南韓] 釜山,49,52; 華山,49,52,53; 水原,49,52,53,57; 濟州島,49,52,53; 俗離山,2,3,4; 智異山,24; 京城,12; 保寧郡,36; 江華島,6; 清州,3,4; 月岳山,3,4; 小白山,3,4; 鷄龍山,75.

[北韓] 水原,12; 平壤, 9.

分布疑問種および正体不明種

次の種は誤同定や産地の混同が考えられ、韓半島での分布が疑問なもの、分類上の困難性からの混乱によるもの、あるいは一次的な侵入種と考えられるものである。それ故明瞭な採集記録が報告されるまでは、これらを韓半島のファウナからは暫定的に除外しておきたい。なお分類学的な見解の不一致によるものも著者等の見解としてここに含ませておく。

Hypoponera excoecata (Wheeler) *²⁾

Myrmica lobicornis Nylander *⁴⁾

Myrmica rubra (Linnaeus) *⁵⁾

Myrmica ruginodis Nylander *⁵⁾

- Myrmica yoshiokai* Weber *36)
Myrmica scabrinodis saposhnikovii Ruzsky *7)
Myrmica sulcinodis sulcinodo-scabrinodis Forel *36)
Myrmica silvestrii Wheeler *36)
Leptothorax tuberum (Fabricius) *37)
Monomorium floricola (Jerdon) *38)
Solenopsis fugax (Latreille) *18)
Myrmecina graminicola (Latreille) *20)
Crematogaster laboriosa Fr. Smith *21)
Crematogaster sordidula Nylander *22)
Lasius emarginatus (Oliver) *39)
Formica rufa Linnaeus *40)
Formica rufa pratensis truncicolo-pratensis Forel *41)
Formica rufa var. *truncicolo-pratensis*; Karawajew, 1912
Formica rufa dusmeti suzukii Teranishi *42)
Camponotus fallax (Nylander) *43)
 = *Camponotus marginatus*; Karawajew, 1912 [See Teranishi, 1940]
Camponotus obscuripes Mayr *44)
Camponotus ligniperdus Linnaeus *45)

分類学的ノート

* 1) *Ectomomyrmex javanus* Mayr

Collingwood (1976) は, *E. javanus* を *Pachycondyla astuta* のシノニムとして取り扱ったが, 本属および本種の分類に関しては属間関係, 種間関係に問題を多く残しており, それ故十分な分類学的な検討がなされるまでは, 混乱を避けるために *E. javanus* の学名を適用しておく。

* 2) *Hypoponera sauteri* (Forel)

これまでに日本で *H. excoecata* と同定していた種の大部分は *H. sauteri* であった (Onoyama, 1989)。崔 (1986) が用いた標本を再度点検した結果, これらは全て *H. sauteri* であった (Terayama & Choi, 1991)。

* 3) *Cerapachys humicola* Ogata

本種を含むクビレハリアリ亜科 (*Cerapachyinae*) は崔・朴 (1991) によって初めて韓半

島から記録された。

* 4) *Myrmica jessensis* Forel

韓半島産のものは日本産のもと一致し、欧州産の *M. lobicornis* とは形態的に多少とも異なることから、*M. jessensis* の学名をあてておく。崔他(1985a)に見られる *M. lobicornis* は本種と同一のものである。

* 5) *Myrmica ruginodis kotokui* Forel, *M. rubra* (Linnaeus)

旧北区に広く分布する *Myrmica ruginodis* の学名が韓半島および日本産のものにしばしば使われてきたが、これらには欧州産のものとは多少とも形態的な差異が認められる。それ故 Collingwood (1976) は *M. kotokui* の学名を、Onoyama (1989) は *M. ruginodis kotokui* の学名をこれらにあてた。これらの形態的な差異が *M. ruginodis* の地理的変異 (Elmes & Clark, 1981; Ogata et al., 1985) であるのか否かの詳細な分類学的検討が今後とも必要である。ここではとりあえず、Onoyama (1989) に従って *M. ruginodis kotokui* の学名をあてておく。

白 (1984) の目録中に見られる *M. rubra* は Karawajew (1912) や Teranishi (1940a) の *M. rubra ruginodis* を指していると思われる。ただし、*rubra* は *ruginodis* に類似の種であり、かつ韓半島に分布している可能性も高いので、確実な分布報告を待ちたい。

* 6) *Myrmica* sp. A

Choi et al. (1985) および、Ogata et al. (1985) の *Myrmica* sp. と Collingwood (1976)、金・金 (1982, 1983)、金・崔 (1987) が報告した *M. sulcinodis* は同一の種であろうと思われる。欧州からアジアにかけて分布する *M. sulcinodis* と韓半島産の本種が同一種かどうかの検討が十分にはなされておらず、ここでは *M. sp.* として取り扱い学名の決定を保留した。

* 7) *Myrmica* sp. B

Ogata et al. (1985) の *Myrmica* sp. 2 と金・金 (1982, 1983) が *M. scabrinodis saposhnikovi* と同定したものは同一種であろうと思われる。また *M. scabrinodis* には多くの亜種・変種が記載されており分類は混乱している。なお、*M. scabrinodis saposhnikovi* はアルタイ山脈を基産地としている。

* 8) *Aphaenogaster famelica* (Fr. Smith)

Collingwood (1976) は *A. ruida* として *A. famelica ruida* を平壤から報告したが、本種は *A. famelica* のシノニムであろうと思われ、現在分類学的検討が行われている。金・金 (1983) の *A. famelica* は論文中の図から *A. smithiesi japonica* の誤同定である。それ故南韓での本種の記録はなく、正式な報告が必要である。

* 9) *Aphaenogaster shmidtii* Karawajew, *A. smithiesi japonica* Forel

Karawajew (1912) の記載した *A. shmidtii* は *A. smithiesi japonica* に類似しており (Wheeler, 1928), 模式標本の照合等により両種間の関係を明らかにする必要がある。

* 1 0) *Pheidole fervida* Fr. Smith

Teranishi (1940 a) の記載したアリの模式標本は第二次世界大戦で全て焼失している (小野山, 1982)。var. *kawazana* の模式標本も現存しないが, 記載論文から判断した限りでは *P. fervida* の範疇に含まれるものと思われる。

* 1 1) *Pheidole nodus* Fr. Smith

金・金 (1983) は *P. fervida* と *P. nodus* を混同している。

* 1 2) *Leptothorax congruus* Fr. Smith

本種の韓半島からの初記録は崔 (1986) ではなく Collingwood (1976) で, 南韓では金・金 (1983) によるものである。金 (1970) の *L. congruus* は Teranishi (1940a) の引用であることから, *L. spinosior* を示している。

* 1 3) *Leptothorax* sp. A

Leptothorax arimensis Azuma, 1977 に近似の種であるが, 触角柄節の長さや頭部のしわ, 前伸腹節の形態等が異なる。

* 1 4) *Leptothorax* sp. B

記載論文との照合では北韓から報告された *L. nassonovi* に一致する。

* 1 5) *Tetramorium bicarinatum* (Nylander)

白 (1984) の目録中に出てくる種であるが, 具体的な採集記録が示されておらず確認が必要である。

* 1 6) *Monomorium intrudens* Fr. Smith

M. intrudens は Wheeler (1906) により *M. floricola* のシノニムとされてきたが, 近年 Wheeler の取り扱いが誤りで *M. nipponense* と *M. intrudens* がシノニム関係にあることが判明した (Bolton, 1987; Ogata & Bolton, 1989)。それ故創設年代の古い *M. intrudens* の学名が適用される。金 (1963) 及び韓国動物学会 (1963) の目録に *M. intrudens* の学名が見られるが何を指しているのか不明である。

* 1 7) *Monomorium pharaonis* (Linnaeus)

人為的移入種であろう。近年, 家屋の暖房設備の普及で蓄熱効果が高まり, その結果, 気候的制約から本来生息が不可能であった地域のビルや住宅の中でも本種が見られるようになった。

* 1 8) *Solenopsis japonica* Wheeler, S. sp.

寺西 (1929, 1940 a) は日本及び韓半島産の本種を *S. fugax* と同定しているが, 欧州産の *fugax* とは区別して, 韓半島産の本種には *S. japonica* の学名を適用しておく。Baroni

Urbani (1968) の創設した *Diplorhoptrum* 属は *Solenopsis* 属のシノニムとして取り扱われる場合が多く (Brown, 1973; Snelling, 1981 など) ここでも同ように取り扱った。S. sp. は黒褐色の種であるが、1 個体しか得られていないことから今後の確認を要する。

* 19) *Vollenhovia emeryi chosenica* Wheeler

Wheeler (1928) は韓半島産のものに対して亜種 *chosenica* の名を与えた。しかし、崔他 (1985) 以降、韓半島産のものに対して原名亜種名が与えられている。確かに韓半島各地産の標本を点検しても、日本から記録されている原名亜種とは頭部に黒色のスポットを欠く点を除いては差異が認められなかった。しかしながら、より詳細な分類学的検討がなされるまでは、韓半島産のものには暫定的に *V. emeryi chosenica* の学名をあてておく。なお本属は所属する族が長く不明の状態であったが、ここでは Hölldobrer & Wilson (1990) に従い *Metaponini* 族に位置付けた。

* 20) *Myrmecina graminicola nipponica* Wheeler

M. graminicola が Collingwood (1976) によって報告されているが、韓半島各地の本属の標本を点検しても、欧州及び北アフリカに分布する *M. graminicola* は見いだせなかった。

* 21) *Crematogaster matsumurai* Forel

金・金 (1983) の *laboriosa* は *C. matsumurai* であろう。寺西 (1940c) は? 付で本種を水原から記録したが、*laboriosa* とするには疑問があり *matsumurai* に類似していることを指摘している。

* 22) *Crematogaster osakensis* Forel

本種は初め *C. sordidula* の変種として記載され、後に Brown (1949) が亜種にランクを格上げしたが、韓半島産の本種に対して *Crematogaster sordidula* の学名を適用した論文もある (金, 1963)。しかしながらここでは、日本、韓半島に分布する本種は原名亜種とは種を異にするという Collingwood (1976) の見解を支持したい。

* 23) *Strumigenys* sp. [韓半島初記録]

日本でキタウロコアリと呼ばれているものと同一の種である。働きアリでは *S. lewisi* との区別が不可能であるが、雌アリでは *lewisi* が側方から見て胸背が余り高まらず、複眼が小さい (0.09mm) の対し、sp. では胸背が高まり、複眼も大きい (0.13mm) ことで区別される (増子・寺山, 1984)。

* 24) *Smithistruma japonica* (Ito)

金他 (1992) によって正式な発表がなされる予定である。

* 25) *Kyidris mutica* Brown, *Epitritus hexamerus* Brown, *Proatta* sp.

韓国昆虫学会大会 (1991年度) で金・崔・方によって韓半島での分布が初めて報告された。論文発表は崔他 (1992) によって行なわれる。*Proatta* 属はこれまでに熱帯アジアに 1 種

のみが知られており、韓国産の *Proatta* sp. は新種として記載される予定である。

* 26) *Bothriomyrmex wrouhtoni* Forel

金 (1963), 韓国動物学会 (1968), 白 (1984) 等の目録には本属が掲載されていないが, Wheeler (1928) が記録した本属本種を韓半島のファウナから除外する理由を持ち得ないので, ここでは目録中に含ませた。ただし分布を確認する必要がある。

* 27) *Technomyrmex albipes* (Fr. Smith)

これまでのところ Collingwood (1976) による平壤からの1雄の記録のみが知られるが, 本種の分布状況から判断して, 平壤での記録は人為的移入による可能性が高い。

* 28) *Lasius brunneus* (Latreille)

Kim は1989年に本種を韓国からの初記録として発表しているが, 本種の初記録は崔 (1986) になる。

* 29) *Lasius talpa* Wilson

寺西 (1940a) が *L. flavus myopus* として水原から報告した種は, 目が小さく触角柄節と脚脛節に立毛を持つという記載から本種に該当すると思われる。

* 30) *Formica* sp.

F. japonica や *F. fusca* に類似した種であるが, 腹部第2節背板の立毛が後縁列のものを除いて通常0本 (せいぜい1-2本) である点で区別できる。また, *japonica* が裸地や草地に生息する傾向が強いのに対して, 本種では主に林縁に生息する。韓半島では南部に分布している。

* 31) *Formica lugubris* Zetterstedt

Dlussky (1967) は *yessensis* を *lugubris* のシノニムとみなしたが, 園部 (1977) は *yessensis* と *lugubris* をそれぞれ独立した種とみなした。ここでは園部の意見に従った。

* 32) *Camponotus kiusiuensis* Santschi

韓国からの初記録は Kim (1988) ではなく崔他 (1985) である。

* 33) *Camponotus jejuensis* Kim & Kim

原記載から判断すると, 本種は原記載中でふれられている欧州産の *C. gestroi* よりもむしろ *C. tokioensis* に非常に類似している。

* 34) *Camponotus nipponensis* Santschi

韓国からの初記録は Kim (1988) ではなく崔他 (1985) である。

* 35) *Camponotus tokioensis* Ito

色彩に地理的変異が見られる。日本産のものは中胸, 前伸腹節が黒色であるが, 濟州島や蓮花列島等の韓半島南部のものは多少とも褐色がかり, より北部の徳積群島のものではさらに褐色味が強まる。この相違が地理的変異によるものか種レベルでの相違によるものか

は今後の研究に待ちたい。雌アリ(女王)では日本の個体群と韓半島の個体群を区別できない。

- * 3 6) *Myrmica yoshiokai* Weber, *M. silvestrii* Wheeler, *M. sulcinodis sulcinodoscabrinodis* Forel

3種とも正体不明な種であるが、いずれも既記載種のシノニムになると思われ、ここでは韓半島のファウナから除いておく。Collingwood (1976) が北韓から報告した *M. angulinodis*, *M. kaczenkoi* を含めて本属には不明な種が多く、総合的な整理が必要である。

- * 3 7) *Leptothorax tuberum* (Fabricius)

白 (1984) の目録中に出てくるが、韓国からの正式な分布記録はない。

- * 3 8) *Monomorium floricola* (Jerdon)

金・金 (1983) の報じた *M. floricola* は、論文中の図から判断して少なくとも *floricola* ではない。また崔 (1987), 金他 (1989) の *M. floricola* は *M. intrudens* であった (Terayama & Choi, 1991)。*floricola* の分布状況から判断して、本種が韓半島に生息してもおかしくないが正式な採集報告を待ちたい。

- * 3 9) *Lasius emarginatus* (Oliver)

Teranishi (1940a) は *Lasius niger emarginatus* を報告したが、本種の分布は南ヨーロッパから西アジアに限定されていることから (Wilson, 1955), 本種の韓半島での分布は疑問である。

- * 4 0) *Formica rufa* Linnaeus

本種の分布状況から判断して韓半島には分布しないと思われる。

- * 4 1) *Formica rufa pratensis truncicolo-pratensis* Forel

truncicolo-pratensis 自体は *F. pratensis* あるいは *F. truncorum* のシノニムになる可能性が高いが、Karawajew (1912) が韓半島から本種として報告したものはいずれの種に該当するか不明である。いずれにせよ韓半島のファウナからは除外したい。

- * 4 2) *Formica rufa dusmeti suzukii* Teranichi

Formica 属のいずれかの種のシノニムになると思われるが、Teranishi (1940a) の記載したアリの模式標本は第二次世界大戦によりすべて焼失している (小野山, 1982)。そのため、本種がいかなるものであったのかを確認することはもはや不可能である。

- * 4 3) *Camponotus fallax* (Nylander)

本種の韓半島での分布は疑問である。

- * 4 4) *Camponotus obscuripes* Mayr

内田 (1925) の釜山, 花山からの, Okamoto (1924) の済州島からの記録があり, 金 (1970) や韓国動物学会 (1986), 韓国昆虫分布図鑑 (1980), 韓国昆虫同好会 (1985), 韓国植物保護学会 (1986) の目録にも掲載されている種であるが, これらは全て *C. atrox*

の誤同定に基づくものであろう。古くは Teranishi (1940a) が誤同定の可能性を指摘し、近年では崔 (1986) が本種を韓半島のファウナから除外している。C. atrox の腹部背面の伏毛は長く、やや重なりあうが、C. obscuripes ではそれが短く重ならないことによって容易に区別される。

* 4 5) Camponotus ligniperdus Linnaeus

松村 (1917) が報じた C. ligniperdus は、日本産のものは C. obscuripes の、南韓の記録は C. atrox の誤同定であろう。本種は日本のファウナからも除外されている (森下他, 1988)。

結 語

これまでに公表された学術刊行物と著者らの採集品から韓半島のアリを整理した結果、本地域産のものとして5亜科41属111種に整理された (表1)。内訳としてはハリアリ亜科8属12種、

表1. 韓半島産アリ類の各亜科, 属における種数

亜科・属	総数	南韓	北韓	亜科・属	総数	南韓	北韓
Subfamily Ponerinae	(12)	(11)	(5)	Pristomyrmex	1	1	1
Amblyopone	1	1	0	Crematogaster	4	4	2
Proceratium	2	1	1	Strumigenys	2	2	1
Ectomomyrmex	1	1	1	Smithistruma	1	1	0
Brachyponera	1	1	0	Kyidris	1	1	0
Trachymesopus	1	1	1	Epitritus	1	1	0
Cryptopone	1	1	0	Proatta	1	1	0
Ponera	2	2	2	Subfamily Dolichoderinae	(8)	(3)	(6)
Hypowonera	3	3	0	Hypoclinea	1	1	1
Subfamily Cerapachyinae	(1)	(1)	(0)	Iridomyrmex	1	1	0
Cerapachys	1	1	0	Tapinoma	3	0	3
Subfamily Myrmicinae	(49)	(41)	(25)	Bothriomyrmex	1	0	1
Myrmica	8	5	5	Technomyrmex	2	1	1
Stenamma	1	0	1	Subfamily Formicinae	(41)	(37)	(28)
Aphaenogaster	4	3	1	Plagiolepis	3	3	3
Messor	1	1	1	Prenolepis	1	0	1
Pheidole	4	4	2	Paratrechina	3	2	3
Leptothorax	9	6	6	Lasius	12	12	9
Tetramorium	2	2	1	Formica	9	8	5
Strongylognathus	1	1	1	Polyergus	1	1	1
Monomorium	4	4	2	Camponotus	11	10	5
Solenopsis	2	2	1	Polyrhachis	1	1	1
Vollenhovia	1	1	0				
Myrmecina	1	1	0	計	111	93	64

クビレハリアリ亜科1属1種, フタフシアリ亜科19属49種, カタアリ亜科5属8種, ヤマアリ亜科8種41種である。また南韓からは5亜科37属93種が, 北韓から4亜科29属64種が記録された。

これらの内, *Myrmica* 属, *Leptothorax* 属, *Formica* 属は特に混乱した状態にあり, 資料の収集と今後の詳細な研究を必要とする。また, 今回の目録には掲載したが, *Hypoponera gleadowi*, *Taponoma wroughtoni*, *Bothriomyrmex wroughtoni*, *Plagiolepis pygmaea*, *Formica truncorum*, *Paratrechina sauteri* 等分布を確認する必要のある種も多く存在する。

日本のアリ相と比較すると南韓で得られたアリの種数の内85%が, 北韓で76%が共通の種でありファウナの類似性が高いと言える。一方台湾との比較では, 南韓で得られた種数の内, 共通種は22%, 北韓との共通種は19%でありファウナの類似性は低く示された。

謝 辞

本研究を進めるにあたって金兵珍(圓光大学), 篠原明彦(国立科学博物館), 緒方一夫(九州大学), 山根正気(鹿児島大学), 川窪正・石本真司(明治大学)の各氏には文献入手でお世話いただいた。心から御礼申し上げます。

韓国産蟻類文献目録

- 1) Chapman, J. W. & S. R. Capco, 1951. Check list of the ants (Hymenoptera; Formicidae) of Asia. Mon. Inst. Sci. Tech. (Manila), 1:1-327.
- 2) 崔炳文, 1985. 韓国産개미 (Formicidae) 의分布에 관한研究 (1) 俗離山の개미相. 清州教育大学論文集, 22:401-437.
- 3) —— 1986a. 韓国産개미의分布에 관한研究. 清州教育大学論文集, 23: 317-386.
- 4) —— 1986b. 韓国産개미의分布에 관한研究. 圓光大学大学院学位論叢(人文・自然系), 16:271-339.
- 5) —— 1987. 韓国産개미의分類学的研究 (1). —꼬마개미属의檢討—. 清州大学科学教育研究所論文集, (11): 17-30.
- 6) —— 1988. 韓国産개미의分布에 관한研究 (5) —江華島の개미相—. 清州教育大学論文集, 25: 217-231.
- 7) Choi, B.-M. & C.-H. Kim, 1987. Studies on the distribution of ants (Formicidae) in Korea (4) - Ant fauna in Is. Hongdo and Is. Taehuksando. J. Chong-ju Nat. Tea. Coll., 24:357-370.
- 8) 崔炳文・近藤正樹・崔明奎, 1985. 韓国産개미 (Formicidae) 의分布에 관한研究 (2). 漢拏山の개미相. 清州教育大学論文集, 22:439-462.

- 9) Collingwood, C. A., 1976. Ants (Hymenoptera, Formicidae) from North Korea. Ann. Hist. -nat. Mus. Nat. Hung., 68:295-309.
- 10) — 1981. Ants (Hymenoptera, Formicidae) from Korea, 2. Folia Ent. Hung., 34: 25-30.
- 11) 土居寛暢, 1938. 朝鮮蓋馬高臺春の昆虫. むし, (福岡), 11:87-98.
- 12) Hung, A. C. F., 1970. A revision of ants of the subgenus Polyrhachis Fr. Smith (Hymenoptera; Formicidae; Formicinae). Oriental Insects, 4 (1):1-36.
- 13) Karawajew, W., 1912. Ameisen aus dem palaäktischn Faunengebiete. Rev. Russ. Ent., 12:581-596.
- 14) — 1929. Myrmekologische Fragmente. II. Mém. Cl. Sci. Phys. Math., 13:203-218.
- 15) Kim, B. -J., 1986a. On the unrecorded species of Korean ants, *Formica fusca* on the basis of external fine features. J. of Natural Science (Res. Inst. for Basic Science, Won-Kwang Univ.), (2):15-20.
- 16) — 1986b. A systematic study of ants in Is. Ullungdo of Korea on the basis of external fine features. J. of Natural Science (Res. Inst. for Basic Science, Won-Kwang Univ.). 5(2):84-94.
- 17) — 1988. A systematic study of the subfamily Formicinae (Hym., Formicidae) from Korea. Korean J. Ent., 18(2):119.
- 18) 金兵珍・金昌煥, 1983. 走査電子顕微鏡を利用한韓國産두배자루마디개미亞科의研究 (별目: 개미類). 大韓民國學術院論文集, 22:51-90.
- 19) Kim, B. -J. & C. -W. Kim, 1983. A systematic revision of the genus *Formica* in Korea on the basis of external fine features (Hym. : Formicidae). Ent. Res. Bull. (Korean Entomological Institute, Korea Univ.), 9:57-67.
- 20) — • — 1984. A systematic revision of the genus *Formica* in Korea on the basis of external fine features (Hym. : Formicidae). Korean J. Ent., 14(2):52.
- 21) — • — 1986. On the one new species, *Camponotus jejuensis* (n. sp.) from Korea (Hym., Formicidae). Korean J. Ent., 16(2):139-144.
- 22) 金昌洙・金鍾萬, 1973. 불개미를利用한송충의防除에關한研究. Korean J. Plant Prot., 12(3):109-114.
- 23) Kim, C. -H. & J. -H. Choi, 1976. Studies on the biological control of pine caterpillar (*Dendrolimus spectabilis* Bulter) by red wood ant (*Formica rufa*

- truncicola var. yessensis Forel). Korean. J. Plant Prot., 15:7-16.
- 24) 金昌洙・崔炳文, 1987. 智異山地域의 개미의 種類의 垂直分布. Korean J. Plant Prot., 26(3):123-132.
- 25) Kim, C.-H. & Y. Murakami, 1980a. Ecological studies on *Formica yessensis* Forel, with special reference to its effectiveness as a biological control agent of the pine caterpillar moth in Korea I. Geographical and ecological distribution of *Formica yessensis* Forel (Hymenoptera: Formicidae). J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 24:239-245.
- 26) ——— • ——— 1980b. Ecological studies on *Formica yessensis* Forel, with special reference to its effectiveness as a biological control agent of the pine caterpillar moth in Korea II. Bionomics of *Formica yessensis* Forel (Hymenoptera: Formicidae) in Korea. J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 25:119-123.
- 27) ——— • ——— 1981a. Ecological studies on *Formica yessensis* Forel, with special reference to its effectiveness as a biological control agent of the pine caterpillar moth in Korea III. Nest distribution and environmental conditions of nest sites. J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 26:9-19.
- 28) ——— • ——— 1981b. Ecological studies on *Formica yessensis* Forel, with special reference to its effectiveness as a biological control agent of the pine caterpillar moth in Korea IV. Artificial colonization of nests. J. Fac. Agr., Kyushu Univ., 26:29-44.
- 29) 金昌煥, 1963. 韓国産蟻. 高麗大学校文理論集理學部篇, 6:243-374.
- 30) ——— 1970. 韓国産動植物図鑑, 11. 昆虫綱 (Ⅲ). 文教部: 462-492.
- 31) 金昌煥・金兵珍, 1982. 韓国産두배자루마디개미亞科의 分類學的研究. 生物學研究年報 (全北大學生物學研究所), 3:95-110.
- 32) 金康一・金昌洙・崔炳文, 1989. 慶尙南道海岸地域의 개미相. 慶尙大論文集 (生農系篇), 28(2):213-226.
- 33) Matsumura, S., 1912. Erster Beitrag zur Insecten-Fauna von Sachalin. Jour. Coll. Agr. Tohoku Imp. Univ., 4:84-90.
- 34) 松村松年, 1917. 続日本千虫図解, 卷之三. 警醒社書店: 142.
- 35) 村上陽三・金昌洙, 1980. エゾアカヤマアリは九州に分布するか. 蟻, (9):7-8.
- 36) Ogata, K., Y. Hirashima, T. Miura, Y. Maeta, K. Yano, & J.-H. Ko, 1985. Ants collected in pine forests infested by the pine needle gall midge in Korea (Hymenoptera, Formicidae). *Esakia*, Fukuoka, (23):159-163.

- 37) 太田幸好, 1935. 日本産蟻類. 昆虫世界, 39:286-289;329-333.
- 38) — 1936. 日本産蟻類. 昆虫世界, 40:166-169;426-428.
- 39) Okamoto, H., 1924. The insect fauna of Quelpart island (Saishiu-to). Bull. Agr. Exp. St. Gov. -Gen. Chosen, 1(2): 205.
- 40) 白雲夏, 1983. 韓国産昆虫の検索. 1. かい科の検索. 서울大学校農学研究, 8(2):69-74.
- 41) — 1984. 韓国産かい科目録. 韓国植物保護学会誌, 23(3):193-195.
- 42) Pisarski, B., 1965. Études sur les fourmis du genre Strongylognathus Mayr. Annales Zool. Warszawa, 23:509-523.
- 43) 園部力雄, 1980. 庭にみられるアリ(2) — 樹上にみられるアリ —. インセクト(昆虫愛好会), 31(2):37-42.
- 44) — 1984. 林にみられるアリ. インセクト(昆虫愛好会), 35(1):1-7.
- 45) 寺西 暢, 1916. エゾアカヤマアリと故山村氏. 昆虫世界, 20:118-119.
- 46) — 1925. クロナガアリの学名に就きて. 動物学雑誌, 37:289-294.
- 47) — 1927a. サムライアリの新産地. 昆虫, 2(1):53
- 48) — 1927b. 大阪天王寺植物園付属温室の蟻類. 昆虫, 2(1):51-52.
- 49) — 1929a. 日本産蟻類の習性と分布(一). 動物学雑誌, 41:239-251.
- 50) — 1929b. 日本産蟻類の習性と分布(二). 動物学雑誌, 41:312-332.
- 51) — 1931. 名和昆虫研究所のアーケ燈に來た羽蟻. 関西昆虫学会会報, (1):87-89.
- 52) — 1940a. On the ants of Korea. 寺西暢遺稿集, 未発表遺稿, :1-30.
- 53) — 1940b. 本邦九州以北及び朝鮮に産する東洋系蟻類及其の分布. 寺西暢遺稿集, 未発表遺稿, :31-49.
- 54) — 1940c. 九州以北及朝鮮に特有の蟻. 寺西暢遺稿集, 未発表遺稿, :50-55.
- 55) — 1940d. Verzeichniss der Ameisen der helcureanus Gruppe (Camponotus) von Japan. 寺西暢遺稿集, 未発表遺稿, :71-75.
- 56) Terayama, M. & B. -M. Choi, 1991. Four newly recorded species of Formicidae (Insecta, Hymenoptera) from Korea. Edaphologia, (45):63-65.
- 57) 内田登一, 1925. 一九二二年採集せる朝鮮産既知膜翅類並びに其地理的分布. 昆虫世界, 29:328-335.
- 58) Wheeler, W. M., 1906. The ants of Japan. Bull. Amer. Mus. Nat. Hist., 22:301-328.
- 59) — 1928. Ants collected by Professor F. Silvestri in Japan and Korea. Bull. Lab. Zool. Agr. Portici, 21:96-125.
- 60) Wilson, E. O., 1955. A monographic revision of the ant genus Lasius. Bull. Mus.

Comp. Zool., 113:1-201.

- 6 1) Yamauchi, K., 1979. Taxonomical and ecological studies on the ant genus *Lasius* in Japan (Hymenoptera: Formicidae). I. Taxonomy. Sci. Rep. Fac. Educ. Gifu Univ. Nat. Sci., 6:147-181.
- 6 2) Yasumatsu, K., 1940. Contributions to the Hymenopterous fauna of inner Mongolia and North China. Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc., 16(2):90-97.
- 6 3) 安松京三, 1941. 極東産アンガラ系カタアリ属の検討 (英彦山昆虫雜記-XLIII). 昆虫, 14:177-183.
- 6 4) Yasumatsu, K. & W. L. Brown, Jr., 1951. Revisional notes on *Camponotus herculeanus* Linne and close relatives in Palearctic regions (Hymenoptera: Formicidae). Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ., 10:29-44.
- 6 5) ——— • ——— 1957. A second look at the ants of the *Camponotus herculeanus* group in Eastern Asia. Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ., 11:45-51.
- 6 6) Kuznetsov-Ugamskij, N. N., 1929. Die Ameisen des Süd-Ussuri-Gebietes. Zool. Anz., 83:16-34.
- 6 7) 市川三喜, 1906. 濟州島の昆虫. 博物之友, 6(33):183-186.
- 6 8) 石宙明, 1970. 濟州島昆虫相. 寶晉齋, 186pp.
- 6 9) 韓国動物学会, 1968. 韓国動物名集 (二). 昆虫編. Hymenoptera: 161-163.
- 7 0) 金昌煥 (編), 1980. 韓國産昆虫分布図鑑. (第三篇벌・파리類). 高麗書籍, 356pp.
- 7 1) 農村振興廳, 1982. 한국산식충성, 곤충목록 (Catalogue of parasite predator-host Insects of Korea), : 57.
- 7 2) 韓国植物保護学会, 1986. 韓国植物病・害虫・雜草名鑑, : 252-253.
- 7 3) 韓国昆虫同好会, 1985. 韓국의개미. 韓国昆虫同好会誌, 1(2):2-33.
- 7 4) 崔炳文・朴慶淑, 1991a. 한국산 개미의분포에 관한연구 (6). —서울남산의 식생과 개미군집의 종조성 및 Colony 밀도—. Korean J. Appl. Entomol., 30(1):65-79.
- 7 5) ——— • ——— 1991b. 한국산 개미의분포에 관한연구 (7)—계룡산의 개미상—. Korean J. Appl. Entomol., 30(1):80-85.
- 7 6) 金昌洙・崔炳文・方鍾烈, 1992. 走査電子顕微鏡을利用한韓國産 톱니비늘개미 *Smithistruma japonica* (Ito) 의形質特性에관하여. Korean J. Appl. Entomol., 31: (印刷中).
- 7 7) 崔炳文・方鍾烈, 1992. 走査電子顕微鏡을利用한韓國産개미의形質特性에 관한研究 (2) —未記錄種 *Epitritus hexamerus* Brown 와 *Kyidris mutica* Brown 의形質

特性에 관하여. Korean J. Ent., 22 : (印刷中).

参考文献

- Baroni Urbani, C., 1968. Über die eigenartige Morphologie der männlichen Genitalien des Genus *Diplorhoptrum* Mayr und die taxonomischen Schlussfolgerungen. Zeitschrift für Morphologie der Tiere, 63:63-74.
- Bolton, B., 1987. A review of the *Solenopsis* genus-group and revision of Afrotropical *Monomorium* Mayr (Hymenoptera : Formicidae). Bull. Br. Mus. Nat. Hist., (Ent), 54:263-452.
- Brown, W. L., Jr., 1949. Notes on Chinese ants ; I. *Crematogaster* Lund. Mushi, Fukuoka, 20:37-38.
- 1973. A comparison of the Hylean and Congo-West African rain forest ant faunas. In Tropical forest ecosystems in Africa and South America, a review. Eds. by B. J. Meggers, E. S. Ayensu & W. D. Duckworth :161-185. Washington, D. C.
- Dlussky, G. M., 1967. Ants of the genus *Formica*. 236 pp. Nauka, Moscow. (In Russian.)
- Elmes, G. W. & R. T. Clark, 1981. A biometric investigation of variation of workers of *Myrmica ruginodis* Nylander (Formicidae). In Systematic association special Vol. 19, "Biosystematics of Social Insects" Ed. by P. E. House & J. L. Clement. pp. 121-140. Academic Press, London.
- Hölldobrer, B. & E. O. Wilson, 1990. The ants. 732 pp. The Belknap Press of Harvard University Press.
- 増子恵一・寺山 守, 1984. 伊豆・小笠原のアリ採集目録. 蟻, (12):7-12.
- 森下正明他, 1988. 日本産アリ類和名一覧. 日本蟻類研究会, 50 pp.
- Ogata, K. & B. Bolton, 1989. A taxonomic note on the ant *Monomorium intrudens* F. Smith (Hymenoptera, Formicidae). Jpn. J. Ent., 57(2):459-460.
- 小野山敬一, 1982. 日本人によって記載された日本産アリ類の模式標本の所在. 蟻, (10): 2-4.
- Onoyama, K., 1989a. Confirmation of the occurrence of *Myrmica rubra* (Hymenoptera, Formicidae) in Japan, with taxonomic and ecological notes. Jpn. J. Ent., 57(1): 131-135.
- 1989b. Notes on the ants of the genus *Hypoponera* in Japan (Hymenoptera : Formicidae). Edaphologia, (41):1-10.

Snelling, R. R., 1981. Systematics of social Hymenoptera. Social Insects, Vol. II. Ed.
by H. R. Hermann : 369-453. Academic Press.

園部力雄, 1977. 日本産のアリ (3) Formica 属. 蟻, (8):1-2.